

●19世紀中葉から一世紀半にわたるロシア & スラヴ地域でのスラヴ学の発展を総括した民族言語学辞典

●スラヴ諸民族の言語、文学、フォークロア、神話、民族誌、民芸などの研究に必須の学術文献 (2012 年完結の初版の増補改訂第2版)

ロシア科学アカデミー・スラヴ学研究所編
スラヴ古代 民族言語学辞典 全5巻 増訂第2版
第1巻 A (Август) - Г (Гусь)

監修ニキータ・トルストイ モスクワ、「国際関係」社、2026 年、584 頁

Славянские древности. Этнолингвистический словарь.
В 5 т. Т.1: А (Август) - Г (Гусь).

Под общ. ред. Н.И. Толстого; Ин-т славяноведения РАН.

2-е изд., испр. и доп. М., <Международные отношения>. 2026 г. 584 с.

ISBN9785713318123 (R277564-8561)

T.1 hard ¥14,960.

◎続巻の継続ご予約をおすすめいたします。

■本書(全5巻)は、ロシア科学アカデミー・スラヴ学研究所「民族言語学・フォークロア」部による民族言語学辞典です。初版は 1995～2012 年に出版されました。本書はその後の学問的成果を盛り込んだ「増補改訂第2版」です。新たな民族言語学的資料とフォークロア・民族誌学的資料を加え、参考文献書誌を拡充し、図版を増補しました。

■スラヴ学史上初めての全スラヴ民族の伝統的精神文化に関する民族言語学辞典の試みで、19 世紀中葉から今日まで発展してきたスラヴ学の到達点を示しています。スラヴ諸民族の言語、フォークロア、神話、民族誌、民衆芸術を対象としました。

■スラヴ諸民族の精神的生活の諸相について記述しており、民族的な世界観、自然観、聖なる庇護者観、そして呪術師・魔物・諸精霊への迷信のことは特別の項目で説明しています。また、民間暦、儀礼、慣習、祝日、家族秩序なども詳述しています。

■監修者は、国際的に著名なスラヴ学者ニキータ・トルストイ(1923-1996, 文豪トルストイの曾孫)ですが、1995 年の第1巻(初版)刊行の翌年に逝去しました。その後は、同じスラヴ学研究所所属でニキータの妻であるスラヴ民族言語学者のスヴェラーナ・トルスタヤが編集長となり、第2巻(1999 年刊)から年刊の第5巻(2012 年刊)までを上梓しました。今回の増訂第2版の刊行事業は、さらに新進の研究者を多く加えた体制でスタートしました。ただし、編集方針はニキータ・トルストイが確立したものを維持しており、今回も監修者名に変わりはありません。

